

「京都マラソン2016応援大使」出走者発表記者会見コメント（要旨）

## 【マラソン出走！】

【山中 伸弥さん】（京都大学 iPS 細胞研究所所長・教授、京都市名誉市民）



私にとっては、今回が3回目のマラソンになります。第1回は、4時間3分ということで、ちょっと残念でありました。その次は、ノーベル賞受賞という大変なできごとがございまして、2年間は、走ることができませんでした。去年からまた、参加させていただいています。そして、去年は、人生で初めて4時間を切る「サブフォー」ということで、一生の思い出に残る素晴らしい大会でした。今年もまた、走らせていただくことを、本当に感謝しています。

また、この大会、第1回から、クラウドファンディングを用いて、iPS 細胞研究基金(<http://japangiving.jp/c/13348>)への寄付の呼び掛けを行ってきました。たくさんの方にご支援をいただいています。今回も、「ジャパングビング」というクラウドファンディングを通じて、寄付をお願いしながら走っていきますので、そちらの方の応援も、お願いできれば、と思っております。よろしくお願いいたします。

【原 邦夫さん】（スポーツドクター・なでしこジャパンチームドクター）



生まれ育った京都のまちで、このように応援大使をさせていただいて、誠に光栄で感謝しております。親が厳しくて、小学校2年生の頃から、家のそばにあった鴨川(河川敷)を走ってから通学するというのが日課だったので、今もそれを続けています。

京都シティハーフマラソンの時から、京都のまちを走るのが1年間の楽しみでした。京都マラソンを、応援大使という形で走らせてもらうのは、小さい頃からの夢みたいなので、本当にありがたいです。

鴨川を走っていると、朝、暗い内から走るのも辛いのですが、京都の大学・産業大学や佛教大学の陸上の方も走っています。その大半・・・というと怒られますけど、自分の患者さんもたくさん走っているので、その姿を見ては、がんばろうと思って、私も走っています。

京都マラソンが終わると、ちょうど翌日から、なでしこジャパンのリオデジャネイロ・オリンピックの合宿が始まります。更に、その翌週の月曜日から、予選のオーストラリア選が大阪でありますので、私も京都マラソンでがんばって、それを糧に、選手の皆さんと一緒に、リオの切符を目指してがんばりたいと思いますので、なでしこの応援も、よろしくお願いいたします。

## 【ペア駅伝出走！】

【山田 幸代さん】（プロ・ラクロス選手）



4年間学生時代を過ごした大好きな京都でマラソンの応援大使をさせていただくことを、すごく嬉しく思っています。

去年は、フルマラソンを走らせていただいたのですが、その時も「走る人」「見る人」「応援する人」とみんなが主役となっている、この大会が、またもっと大好きになりました。今年も、沿道の皆さんとか、支えてくださっている皆さんと、一緒に楽しみながら走れたらなあと思います。

また、今回は、ペア駅伝ということで、桧山さんからタスキを受け継いでゴールまで運んでいくお仕事をいただきましたので、桧山さんのつないでくださったタスキを、皆さんと一緒に楽しみながら、ゴールまで運んでいけたらと思っています。

去年は、海外のランナーの方々としゃべりながら走っていました。聞こえてくる英語に反応して話しかけてみると、「この大会、すごい楽しいね。いろんな沿道の人たちからも声があって、大事なところで水分補給ができて、食事も取れて、自分が走ってきた中で一番いいマラソンだよ！」と言っていただきました。海外の人たちも注目する京都マラソンを、海外の人たちにもどんどん発信する役割も果たせれば、と考えております。

一番は、やっぱり、楽しみながら走るのが自分らしいと思いますので、がんばっていききたいと思います。

【島袋 勉さん】（両足義足のランナー）



こんなに素晴らしいロケーションの中、走れるのは、すばらしいことだなあと思います。

海外の友達が、前まではよく、東京マラソンの時に遊びに行きますよ、ということをよく話されていたんですけども、近頃は、みなさん、京都マラソンは、なかなか走れないということで、羨ましがられたりします。

京都マラソンは、ボランティアの方や周りの人たちが、とても気持ちいいなあと感じます。

いつも苦しくて、なかなか周りを見る余裕がないんですけども、今回は、いい景色を楽しめるように走りたいと思います。